

若

就 鶩

ホームページ

上野原中学校学校だより
第 7 号

令和7年10月30日発行

文責 校長 長谷川英信

中学生にとっての「きまり」について！

昨年度、上野原中学校では校則（生徒心得）について、生徒会を中心となって改正に向け取り組んだと聞いています。この流れについては、令和4年の12月に改訂された生徒指導提要（せいとしどうていよう）<文科省>によって全国的に校則について生徒が自分事として捉え、意味を理解し自主的に守るのが本来の姿であると盛り込まれたためです。その生徒指導提要というものは、文科省が、全国の学校の教職員が児童・生徒を指導するときの手引きとして出されたマニュアルです。ですので本校でも昨年、生徒会と共に上中の決まりについて見直し、これまでの生徒心得について生徒と討議して決めました。これまで禁止としていた細かな内容も生徒に「中学生としてふさわしい」という表現で生徒に自ら考えさせ、自らを律しみんなで守っていく体制に移行しました。生徒の中には、頭髪、服装についても決まりが緩くなつたと感じている生徒もいますが、これからの教育ではその生徒の「個人の責任」として捉え、自分事として考えさせる流れになってきています。かつては、中学生の段階では、「決まり」として教え、守らせることで「約束を守る力」の育成を目指していました。ですので厳しく指導したり、事細かく中止したりしましたが、これからの中流は生徒に考えさせ、自分で決めさせるといったものです。この流れについて、ご家庭ではどう考えるでしょうか。「学校で決めて指導してほしい」そういう声も出ています。現在、学校では頭髪、服装について「それは、ふさわしい格好ではないと思います。考えてみてください」そう声かけをしています。以前とは違い教職員も指導に戸惑っている現状もあります。ただ、地域で「上中の生徒の格好」については、多くの声を聞きます。その点も踏まえ、保護者の皆さんとも考えていくべきだとも思っています。生徒が、社会に出たとき困らないような力を身につけてあげたいと学校では考えています。ご家庭にも様々な決まりがあると思います。先日、1年生の道徳の授業で「きまり」について考える場面がありました。教師の「きまりはあった方がいいの？」の問いかけに「ない方が自由でいい」とか、逆に「自分はあった方がいろいろ考えなくていいのであつた方がいい」または、「多くの人が共に生活するのでないと治安が守れない」などの意見が出てきました。とかく中学生ぐらいは、大人の指導に素直になれないため反抗する時期（思春期）であるため、「きまりはない方がいい」と多くの生徒が言い出します。ですが、スポーツにルールがあるように「きまり」が全くなかつたら集団での生活は成り立たないと理解する必要があるとも考えます。そういう面では、1年生もしっかりと考へているなど感じました。これからは、「多様性」の時代と言われています。学校教育もここ数年で変わってきています。時代の流れに翻弄されないように学校としても保護者の方々と共有し共に理解しながら進めたらと思っています。子どもたちの頭髪、服装について関心を持っていたとき、親としての考へを伝える場面を家庭で持つてほしいです。また学校へも皆さんの声を届けてほしいです。よろしくお願ひいたします。



来年度の生徒会役員を決める選挙の取組が始まっています！！

来年度の生徒会役員選挙が、選挙管理委員会を中心に取組が始まっています。各学級から選挙管理委員を選出し、3年生の選挙管理委員が委員長となり、選挙の規定や選挙運動の内容、立ち会い演説会、投票と開票などについて話し合いを進めてきました。選挙の公示がなされ、立候補者の受付が28日に終了しました。これまでにないくらい多くの候補者が立候補しました。選挙になり、各候補者の運動が始まるととても盛り上がると思います。生徒達は、自分たちの代表を生徒会役員として組織の代表に推薦し、自分たちの思いや考へを学校全体に届けていくといった政治や行政について学校モデルで学習します。ですので投票は人気投票ではなく、人を選ぶということは、そこに責任がついてくることを学びます。また、立候補する人の心構えや選ぶ側の支援体制、責任についても学年として、学級としてこの選挙を通して多くを学んでもらうために全校で取り組んでいます。小学校の時も行つきましたが、中学校ではさらに一段階上の内容で教師側も要求すると思います。みんなの代表によるみんなのための生徒会となるように立候補者も応援する生徒達も真剣に取り組んでもらいたいです。人を選ぶことはとても難しく大切なことです。しっかり考へ1票を大切にする心を身につけてほしいと思っています。

市の音楽発表会に学校代表で3年生が発表しました！

10月22日(水)、上野原市内音楽発表会に上野原中学校を代表して3年生が学年合唱を発表してきました。例年、この発表会には3年生が出場することになっており、今年度も学園祭終了後、3年生が計画的に練習に取り組んでいました。3年生は、小学校の高学年の時に「コロナ感染症」が大流行し、音楽の授業も、学校行事でさえ合唱には取り組めませんでした。小学校の先生方も3年生の学年の合唱の歌声はあまり聞いていないといっていました。学園祭の時に3年生らしい素晴らしいハーモニーを聴かせてくれたので、今回の発表会でも大変期待していました。以前にも書いた通り、合唱は仲間意識を高めるためにも有効な取組です。相手の歌声を聞きながら自分が息をそろえ合わせることで、心を通わせ大きな達成感を味わえるものです。今回、新たな取り組みとして、男子パートのソロがありました。練習でも昼休みに集まり取り組んでいました。本番では、上中の3年生の思いの伝わる感動的で素晴らしいものとなりました。この学年で取り組める合唱は、あと三学期の「3年生を送る会」と「卒業式」のみです。この仲間との合唱を更に最高にするため、最高の思い出を作るため頑張ってもらいたいです。この合唱の様子は後日、UBCで放送されます。ご期待ください。



2年生が甲府に校外学習に出発します！！

2学年が甲府方面に校外学習に出かけます。29日の6校時に結団式が行われました。今日まで学年協議会を中心に取り組んできました。1日目は甲府市内の班別見学、そして八ヶ岳少年自然の家に宿泊し、2日目はキャリア教育の一環で「Port Farm(畜産酪農)」と「いこいの杜 平和ジュージアム(地雷撤去)」の見学をします。多くの方々との出会いの中から学び、教室ではできない学習をしっかりしてもらいたいです。そして学年としても集団としての力をさらに身につけてもらいたいです。結団式では、学年委員長さんから仲間と共に学び、実り多い校外学習にしようとお話をありました。団長の久島教頭先生からも「君たちは学校では守られて生活しているが、社会に出るとそうはいかない。社会の一員となることを二日間で体験してきてほしい」とお話がありました。会の雰囲気も素晴らしく、係長などの発表もとても立派でした。生徒達の真剣な目が印象に残ったとてもよい結団式でした。仲間との最高の思い出をたくさんつくってきてください。



※表題の中のQRコードを読み取り、是非とも、上野原中のホームページもご覧ください。